

名匠ジャン＝ジャック・アノーが、 「プライベート・ライアン」をも超える 空前のスケールで描く 衝撃のスペクタクル・ヒューマン巨編!

「セブン・イヤーズ・イン・チベット」で実在の登山家の波乱に満ちた運命を描き、ブラッド・ピットの人気を不動のものにした名匠ジャン＝ジャック・アノー監督が次回作に選んだ舞台、それがスターリンググラードだ。第二次世界大戦で最も悲惨な末路を辿り180日間にも及んだスターリンググラード戦。ナチス・ドイツ、ロシア両軍合わせて100万人もの命を散らしたこの死闘の中で、生きるために、愛する者を守るために一撃必殺 (one shot one kill) の正確さで次々とドイツ兵を殺し、自らの意志とは裏腹に英雄に仕立て上げられてしまった若き天才スナイパー、ヴァシリ・ザイツェフ。

総製作費8500万ドルの巨費を投じて製作。主人公ヴァシリに、ハリウッドでの成長著しいジュード・ロウ、理想に燃える若き将校ニコフに「恋におちたシェイクスピア」のジョセフ・ファインズ、美しきレジスタンスの娘ターニャに「アイ・ウォント・ユー」のレイチェル・ワイズ、そして彼を執拗に付け狙うナチス・ドイツのエリート将校に「アポロ13」のエド・ハリスといった実力派俳優が結集。愛と友情、夢と理想を奪われていく若者たちを描いたヒューマン巨編の誕生だ。

ナチス・ドイツを破滅に導いた伝説の男
“ヴァシリ・ザイツェフ”とは一体誰か...?!

本作の主人公ヴァシリ・ザイツェフは実在の人物だ。殺した人間の数は400とも言われる伝説的スナイパーであるヴァシリは、ウラル山脈の羊飼いの家に生まれた。幼い頃から、その射撃の腕は群を抜いており——毛皮を損なわないためには、一発で目を撃ち抜かなければならぬ——彼が初めて狼を撃ったのはわずか5歳の時だった。しかし砲弾が降り注ぎ、おびただしい数の死体が横たわる戦場では生き抜くために“人”を狙撃しなければならない。ヴァシリ・ザイツェフは戦後60年以上たった今でも、国家的ヒーローであり、スターリンググラード(現ヴォルゴグラード)の英雄記念碑には、彼の巨大なレリーフが飾られ、ライフルは市の歴史博物館に保存、戦利品である望遠鏡はモスクワの軍事博物館に展示されている。しかし、若干25歳でロシアのカリスマとなった彼の本当の苦悩を知る人はいない。そう、今、初めて明かされるのだ!!!

ポスト“ブラッド・ピット”は“彼”しかいない——
21世紀、最注目ジュード・ロウ。

その美貌とカリスマ性、確かな演技力で今やハリウッドで一番ホットな男、ジュード・ロウ。イギリスの舞台で数々の賞を受賞した後、ハリウッドに進出。マット・デイモン、グウィネス・パルトロウ共演の「リブリー」でアカデミー賞助演男優賞にノミネートされ人気、実力を不動のものとしたジュード。新境地を開拓した美しくも哀しい“ヴァシリ”の演技で早くもアカデミー賞の呼び声が高い。次回作はスティーブン・スピルバーグ監督作「A.I.」、そして「アメリカン・ビューティー」のサム・メンデス監督作品と話題作が目白押し。今後更なる活躍が期待されるジュード・ロウからは目が離せない!



2001年ベルリン国際映画祭オープニング作品

今春待望のロードショー!!

両館共入替制です。事前に混雑状況をご確認の上ご来場下さい。

有楽町・東宝映画街	03
日比谷スカラ座	(3591) 5358
渋谷道玄坂・109前	03
渋谷シネタワー	(5489) 4210